

平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日

上場会社名 株式会社ファステップス 上場取引所 東
 コード番号 2338 URL http://www.fasteps.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)川嶋 誠
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)村山 雅経 (TEL)03(5360)8998
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	7,086	22.8	231	300.2	246	-	53	-
27年2月期第3四半期	5,769	33.4	57	422.6	△36	-	△226	-

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 153百万円 (-%) 27年2月期第3四半期 △146百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	16.07	16.04
27年2月期第3四半期	△78.66	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	5,792	1,436	12.8
27年2月期	3,443	1,281	19.9

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 741百万円 27年2月期 684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
28年2月期	-	0.00	-		
28年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	△14.4	170	304.8	160	-	100	-	29.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名)エムアンドケイ株式会社 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年2月期3Q	3,343,500株	27年2月期	3,343,500株
28年2月期3Q	38,400株	27年2月期	38,400株
28年2月期3Q	3,305,100株	27年2月期3Q	2,884,332株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は想定以上に底堅い動きを見せ、設備投資に関しては、持ち直しの動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調に向かうことが期待されている一方で、中国経済の減速懸念高まりや原油価格の下落等、我が国の経済を下押しするリスクもあり、先が見通せない状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高7,086百万円（前年同期比22.8%増）、営業利益231百万円（前年同期比300.2%増）となりました。経常利益は246百万円（前年同期は経常損失36百万円）となり、四半期純利益は53百万円（前年同期は四半期純損失226百万円）となりました。

セグメント別の売上高は、以下のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。）

なお、当第3四半期連結会計期間より、新たな報告セグメントとしてアイラッシュケア事業を新設しておりますが、当第3四半期連結累計期間の経営成績に影響を与えないため、記載しておりません。

（システムソリューション事業）

当事業におきまして、システム案件に関しては、受注数増加に向け新規開拓に邁進し、同時に既存顧客との良好な関係の維持にも努めてまいりました。また、スマートフォン向けアプリケーションにおいては、より専門性の高い資格取得、知識の獲得に向けたアプリの開発を始めとして、順調にタイトル数を増加させました。その結果、売上高は245百万円（前年同期比7.5%減）、売上構成比は3.5%となりました。セグメント利益（営業利益）は38百万円となり、前年同四半期と比べ76百万円（前年同期は営業損失37百万円）の増益となりました。

（メディアソリューション事業）

当事業におきましては、第2四半期に引き続き既存と新規クライアント両方の営業基盤を強化し、受注数を増やしてまいりました。その結果、売上高は6,190百万円（前年同期比25.9%増）、売上構成比は87.1%となりました。セグメント利益（営業利益）は293百万円となり、前年同四半期と比べ59百万円（前年同期比25.3%増）の増益となりました。

（コストマネジメント事業）

当事業におきましては、売上高を回復させる為、ハイクオリティ・ローコストを目標に掲げ、顧客満足に力を注いでまいりました。その結果、売上高は213百万円（前年同期比3.7%減）、売上構成比は3.0%となりました。セグメント損失（営業損失）は19百万円となり、前年同四半期と比べ7百万円損失が改善しております。

（シェイプファンデ事業）

当事業におきましては、美容・健康関連サービスの見直しを行い、既存顧客に対しての信頼強化に努めてまいりました。更に、新規顧客の開拓、顧客への十分なサービス提供を進めたことにより、売上高は430百万円（前年同期比29.4%増）、売上構成比は6.1%となりました。セグメント利益（営業利益）は24百万円となり、前年同四半期と比べ71百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,262百万円増加し、4,140百万円となりました。これは、主に現金及び預金が1,161百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,086百万円増加し1,651百万円となりました。これは、主にのれんが860百万円増加したことなどによります。

総資産は、前連結会計年度末に比べて2,348百万円増加し、5,792百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,511百万円増加し、3,006百万円となりました。これは、主に買掛金が873百万円、未払金が348百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ683百万円増加し、1,349百万円となりました。これは、主に長期未払金が482百万円、長期借入金が190百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて154百万円増加し、1,436百万円となりました。これは、少数株主持分が96百万円増加し、四半期純利益を53百万円計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年10月1日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社が平成27年11月1日付でエムアンドケイ株式会社及びPlurecil Holdings Limitedの全株式を取得したことに伴い、当社はエムアンドケイ株式会社及びPlurecil Holdings Limitedを連結の範囲に含め、普洛莱茜尔上海美容有限公司を持分法適用会社としております。このうち、エムアンドケイ株式会社は、特定子会社に該当しております。なお、エムアンドケイ株式会社及びPlurecil Holdings Limited並びに普洛莱茜尔上海美容有限公司は平成27年11月30日をみなし取得日としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,687,834	2,849,313
受取手形及び売掛金	770,055	854,814
商品及び製品	102,144	218,693
仕掛品	43,641	22,752
繰延税金資産	7,645	16,385
前払費用	207,347	90,115
その他	84,829	103,846
貸倒引当金	△24,896	△15,182
流動資産合計	2,878,603	4,140,738
固定資産		
有形固定資産	26,302	55,543
無形固定資産		
のれん	15,800	876,210
その他	56,672	64,302
無形固定資産合計	72,472	940,513
投資その他の資産		
投資有価証券	106,324	152,950
長期貸付金	302,374	351,303
破産更生債権等	166,258	166,258
その他	178,605	286,517
貸倒引当金	△287,826	△301,726
投資その他の資産合計	465,737	655,303
固定資産合計	564,512	1,651,360
資産合計	3,443,115	5,792,099
負債の部		
流動負債		
買掛金	437,074	1,310,383
未払金	51,245	399,413
短期借入金	500,000	804,000
1年内返済予定の長期借入金	176,700	177,084
未払法人税等	36,052	105,112
その他	293,986	210,596
流動負債合計	1,495,058	3,006,590
固定負債		
長期末払金	19,593	502,499
長期借入金	226,539	417,052
役員退職慰労引当金	325,968	336,237
退職給付に係る負債	16,706	17,375
その他	77,622	76,269
固定負債合計	666,430	1,349,433
負債合計	2,161,488	4,356,023

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,390	1,071,390
資本剰余金	663,414	663,414
利益剰余金	△1,003,873	△950,769
自己株式	△58,994	△58,994
株主資本合計	671,937	725,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,963	16,048
その他の包括利益累計額合計	12,963	16,048
新株予約権	4,991	6,305
少数株主持分	591,734	688,682
純資産合計	1,281,627	1,436,076
負債純資産合計	3,443,115	5,792,099

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	5,769,421	7,086,350
売上原価	4,832,873	6,015,326
売上総利益	936,547	1,071,024
販売費及び一般管理費	878,625	839,215
営業利益	57,922	231,809
営業外収益		
受取利息	7,204	4,562
受取配当金	16,316	2,110
投資有価証券売却益	10,250	-
不動産賃貸料	11,905	24,870
貸倒引当金戻入額	5,831	-
その他	4,787	4,658
営業外収益合計	56,294	36,201
営業外費用		
支払利息	7,061	7,066
賃貸費用	5,718	14,043
貸倒引当金繰入額	134,000	-
その他	3,907	268
営業外費用合計	150,686	21,379
経常利益又は経常損失(△)	△36,469	246,631
特別利益		
負ののれん発生益	-	7,386
特別利益合計	-	7,386
特別損失		
固定資産売却損	462	-
減損損失	23,566	-
特別損失合計	24,029	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△60,498	254,017
法人税、住民税及び事業税	101,880	115,775
法人税等調整額	△13,404	△8,527
法人税等合計	88,475	107,248
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△148,974	146,769
少数株主利益	77,894	93,666
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△226,869	53,103

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△148,974	146,769
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,439	6,365
その他の包括利益合計	2,439	6,365
四半期包括利益	△146,535	153,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△223,395	56,187
少数株主に係る四半期包括利益	76,860	96,947

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム ソリューション 事業	メディアソ リューション 事業	カスタマ ネジメント 事業	シェイプ ファンデ事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	265,277	4,918,039	222,111	332,964	5,738,393	31,027	5,769,421	—	5,769,421
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	265,277	4,918,039	222,111	332,964	5,738,393	31,027	5,769,421	—	5,769,421
セグメント利益又は 損失(△)	△37,725	233,976	△26,675	△46,502	123,073	△1,756	121,316	△63,394	57,922

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△63,394千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シェイプファンデ事業」セグメントにおきまして、店舗閉鎖の決定により23,566千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「シェイプファンデ事業」セグメントにおきまして、株式会社NSFが連結子会社となったことに伴いのれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間においては、67,415千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社NSFが連結子会社となったことに伴い、「シェイプファンデ事業」を新設しております。当社は、従来「システムソリューション事業」、「メディアソリューション事業」、「カスタマネジメント事業」の3つの報告セグメントとしておりましたが、新たに「シェイプファンデ事業」を追加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システムソ リューション 事業	メディアソ リューション 事業	コストマネ ジメント 事業	シェイプフ ァンデ事業	アイラッ シュケア 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上 高	227,240	6,190,640	211,033	430,661	—	7,059,576	26,774	7,086,350	—	7,086,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,062	—	2,896	219	—	21,178	—	21,178	△21,178	—
計	245,302	6,190,640	213,930	430,881	—	7,080,755	26,774	7,107,529	△21,178	7,086,350
セグメント利益又は 損失(△)	38,471	293,253	△19,227	24,972	—	337,469	△5,692	331,777	△99,967	231,809

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△99,967千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「アイラッシュケア事業」セグメントにおきまして、エムアンドケイ株式会社及びPlurecil Holdings Limitedが連結子会社となったことに伴い資産の金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象により当第3四半期連結累計期間においては、資産の金額が798,152千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「アイラッシュケア事業」セグメントにおきまして、エムアンドケイ株式会社及びPlurecil Holdings Limitedが連結子会社となったことに伴いのれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象により当第3四半期連結累計期間においては、のれんが854,695千円増加し、負ののれん発生益7,386千円を計上しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、エムアンドケイ株式会社及びPlurecil Holdings Limitedが連結子会社となり、普洛萊茜尔上海美容有限公司が持分法適用会社となったことにより「アイラッシュケア事業」を新設しております。当社は、従来「システムソリューション事業」、「メディアソリューション事業」、「コストマネジメント事業」、「シェイプファンデ事業」の4つの報告セグメントとしておりましたが、新たに「アイラッシュケア事業」を追加しております。